

s コマンド (PSG ハードウェアエンベロープ設定)

[書式]

s<num>

PSG のハードウェアエンベロープ形状を指定し、ハードウェアエンベロープを有効にします(PSG Envelope Shape)。

設定可能範囲は 0 ~ 15 で、初期値はありません。

@ コマンド、@P コマンドを実行すると解除されます。

設定値

各ビットの状態によって、エンベロープ形状が決定されます。

ビット 0 (Hold)

2 周期目以降の波形を固定するかどうか

ビット 1 (Alternate)

偶数周期の波形を反転するかどうか

ビット 2 (Attack)

アタックの波形を反転するかどうか

ビット 3 (Continue)

2 周期目以降の処理を続けるかどうか

ハードウェアエンベロープ使用中の注意点

- ・レガートやスラーは無効となります。
- ・v コマンド、V コマンド、v+ コマンド、v- コマンドは作用しません。

関連

m コマンド、@ コマンド (PSG)、@P コマンド